

令和3年12月10日

指定管理者の指定について（練馬区立大泉学園町体育館等）

1 内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立大泉学園町体育館、練馬区立北大泉野球場、練馬区立土支田庭球場および練馬区立大泉さくら運動公園運動場の指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

東京都千代田区神田小川町三丁目22番地

ミズノグループ

構成団体（代表）

大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号

美津濃株式会社

代表取締役 水野明人

構成団体

大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号

ミズノスポーツサービス株式会社

代表取締役 篠村嘉将

構成団体

東京都練馬区大泉学園町七丁目15番3号

株式会社 プラント

代表取締役 田植政徳

構成団体

東京都世田谷区用賀四丁目10番1号

株式会社 東急コミュニティー

代表取締役社長 雑賀克英

3 指定の期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

令和3年4月21日	第1回指定管理者選定小委員会 （業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議）
5月18日	令和3年度第1回指定管理者選定委員会 （業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告）
6月25日	第2回指定管理者選定小委員会 （募集要項の審議）
7月11日	ねりま区報および練馬区ホームページで公募、募集要項配布開始
7月27日	募集説明会（参加団体数28）
7月28日～8月6日	応募書類受付（応募団体数3）
8月17日	経営診断委託
10月2日	第3回指定管理者選定小委員会 （プレゼンテーションおよびヒアリングの実施） （応募団体の評価、採点）
11月4日	令和3年度第2回指定管理者選定委員会 （応募団体の審査、指定管理者候補の決定）
12月10日	令和3年第四回練馬区議会定例会 （指定管理者指定議案議決）

5 選定の理由

選定に当たっては、応募団体の企画書、プレゼンテーションの内容、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、施設の設置目的を踏まえた運営体制が構築されていること、施設を生かした事業の提案があること等の理由により、ミズノグループが練馬区立大泉学園町体育館ほか3施設を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ご

との評価内容(主な提案の内容、評価した点等)はつぎのとおりである。(審査結果は、別表のとおり)

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

【団体審査】

安定性・継続性

業績は堅調に推移しており、利益を上げる力は十分にあると考えられる。また、資金力と自己資本比率が特に優れており、長期的に安定した事業活動が可能である。

組織体制

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を整備し、適正に運用している。特に個人情報保護については、情報管理責任者の配置や本社専門部署によるサポート、オンライン教育を含む職員への研修実施等、組織的な管理体制を構築している。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め適正に運用している。

団体の施設運営実績

都内および全国に多数のスポーツ施設の維持管理を行っており、練馬区内でも大泉学園町体育館ほか3施設の管理運営をするなど、十分な実績があり、今後も安定した運営を行う能力を有している。

区内事業者か否か

構成企業のうち1社が区内事業者である。

【提案審査】

施設運営体制

新たにバーチャルフィットネスを取り入れるなど、先進的な取組と多種目・多世代に対応するための豊富なメニューの自主事業を数多く展開する提案がある。

新たに、在宅運動動画やコロナ禍でも安心して取り組み、コロナ収束後の来館につながる教室・トレーニング紹介動画などを配信する提案がある。

新たに企業広告を活用したデジタルサイネージを導入し、災害時等には、緊急情報を表示するなど、利用者の安全確保に貢献する提案がある。

これらの具体的な提案により、利用者数を平成29年度の約36万人から令和8年度までに40万人、利用者満足度「大変良い」「良い」の割合を87.5パーセントから95パー

セントにするなど、高い目標を掲げており、評価できる。

新型コロナウイルス感染症に対して、1時間に3回を目安とした換気の実施、1時間に1回の共用エリア・備品の消毒など、継続して利用者および職員の安全確保を行う提案があり、評価できる。

利用者等への対応

パンフレットやチラシ、ホームページ、SNS等、様々な方法を活用し、幅広く情報発信に取り組む提案があり、評価できる。

障害者や高齢者、LGBTの方、外国人等、それぞれの立場からの施設利用上の課題を分析し、利用者に寄り添った適切な対応につなげる提案があり、評価できる。

施設の維持管理・安全性への配慮

確実な施設設備の稼働と、突発的なトラブルへの迅速な対応を行うため、体育館に専門資格を持った設備員を常駐させる提案があり、評価できる。

施設の地域特性を踏まえて作成した独自の災害対応マニュアルを随時更新するとともに、町会や団体、施設利用者との協働による防災訓練を継続・発展させて、地域と連携した危機管理体制を強化する提案があり、評価できる。

効率的な管理運営

電力事業者との契約変更や新たな節水器具の導入等、光熱水費縮減に向けて具体的な提案があり、評価できる。

新たにミズノスポーツサービス株式会社を構成企業に加え、有資格者がプール監視業務に当たることにより、水準を落とすことなく研修費を縮減する提案があり、評価できる。

代表企業グループ内の体育器具メーカーによるトレーニングマシン等の点検や簡易修繕等を学ぶメンテナンス講習会を実施し、日常メンテナンスを職員自らが行うことで点検・メンテナンス費用を縮減する提案があり、評価できる。

施設特性に応じた評価項目

スポーツ振興を通じて「健康促進事業」「子ども育成事業」「地域交流事業」の体系別に幅広く新たな事業を展開し、施設の利用促進を図る提案があり、評価できる。

障害者スポーツ指導員の配置、ポッチャセット等の障害者スポーツ用品の追加配備など、障害者がスポーツを行いやすくする環境づくりと、障害の有無にかかわらず誰もが一緒に参加できる障害者スポーツ体験会・交流大会等のイベント実施に係る提案

があり、評価できる。

地域への貢献

区民雇用率は80パーセント、高齢者雇用率は40パーセントを目標としている。また、障害者雇用についても、施設スタッフとしての採用に加え、パラアスリートを自主事業の講師として採用するなど、積極的な雇用への提案があり、評価できる。

近隣小学校の求めに応じて、新たに指導員派遣制度を始め、ミズノ独自の運動プログラム「苦手克服教室」「運動会必勝塾」を実施する提案があり、評価できる。

別表

指定管理者（ミズノグループ）選定の審査結果（練馬区立大泉学園町体育館等）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団体 審査	1 安定性・継続性	利益を上げる力の有無 事業効率の状況 資金力の有無 借入金の返済能力の有無 経営の安全性	5点	4点
	2 組織体制	個人情報保護および情報セキュリティ確保のための取組 情報公開の取組 法令等の遵守（労働関係法令の遵守を含む。）に対する団体の取組	5点	4点
	3 団体の施設 運営実績	同種、同規模施設の運営実績 現在、運営している施設の状況および施設での取組内容・ 取組の成果 過去のトラブルへの対応状況	10点	8点
	4 区内事業者 か否か	区内事業者である、または構成員に区内事業者が含まれる	10点	6点
提案 審査	5 施設運営体制	施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的な考 え方 現在のサービス水準の維持および向上のための提案内容 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 職員に対する教育、研修体制 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組	40点	32点
	6 利用者等へ の対応	利用者への公平公正な対応 利用者等の人権の配慮 苦情解決体制 職員の接遇に関する取組	20点	16点
	7 施設の維持管理・ 安全性への配慮	日常的な点検体制 災害その他緊急時の危機管理体制 管理上の不具合や問題の区への報告体制	30点	24点
	8 効率的な管理 運営	効率的な人員配置 再委託の範囲の妥当性 事業計画と収支計画の妥当性 その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 提案金額の妥当性	30点	24点
	9 施設特性に応 じた評価項目	施設を生かした事業の提案 障害者スポーツに対する考え方と取組	20点	16点
	10 地域への貢献	区民・障害者・高齢者雇用の促進（非常勤・臨時職員を含 む。） 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者から の調達 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の推進	30点	24点
合 計			200点	158点